

第24号

# 酪農とちぎ

## 梅雨明け間近か

今年の梅雨は典型的な陽性型となり、連日真夏を思わせる晴天が続き、各地で

異常高温が記録されており  
ます。

猛暑により、愛牛の暑熱  
対策が不可欠な昨今、ご自  
身の健康管理にも留意し、  
乳質管理・需要期増産にお  
励み下さい。

組合におきましては、総  
代会で承認された事業計画  
に、役職員一丸となって取  
組み、目標の達成に努力し  
てまいります。今後とも、  
皆様のご支援・ご協力をお  
願い申し上げます。

初夏の土上平放牧場



# 酪農とちぎ第三回通常総代会

家畜排せつ物法の対応・  
那須高原CS建設を着工

第三回通常総代会を六月三十日、高根沢町民ホールに総代百四十五名が出席し開催致しました。

当日は定刻午前十一時に定足数を満たし、菊池副組合長が開会を宣し、前田組合長より、WTO・BSE・脱脂粉乳の過剰在庫対策・需要増産・家畜排せつ物法の



組合長の挨拶

施行に伴う組合の対応及び高原CSの新設着工・県南支所の建設予定を含め、三年度の経過、四年度の事業方針について詳細な報告が行なわれました。

続いて、橋本俊一県農務部長(代理高根沢文夫主幹)から祝辞を頂き、議長団には、小森幸雄氏(烏山町)佐藤一男氏(黒磯市)が選任され、提出第一号から第四号議案まで慎重に審議された結果、全議案とも原案通り可決承認を得ました。

特に第一号議案では、生乳生産の減少に対する対応、受送乳経費の圧縮内容などの質疑がありました。また、第二号議案では、市場における市乳販売の実績状況などの質疑を受け、詳細を報告すると共に、各事業の合理化をさらに進める事を説明し、相馬副組合長が開会を宣し終了しました。

## 当日の出席状況

定数百九十名、本人出席百四十五名、書面議決三十一名

## 主な質疑、意見要望事項

受送乳の経費削減について  
生乳販売事業の収支について  
乳質ペナルティーについて  
乳質格差について  
購買事業の経費について  
合併効果について

## 全酪連への増資について

生産者支払乳価について  
ヘルパー事業について  
市乳販売事業実績について  
TMRの奨励制度について

また席上、乳質共励会の表彰が行われ、今年度より設けられた連続賞と合わせて、日頃の乳質向上に対する努力を賞しました。

## 平成15年度乳質共励会表彰名簿

表彰区分	所属支所及びブロック	組合員名	県表彰	連続賞受賞者		
最優秀賞	那須高原支所	青木支部 小針 秀夫	知事賞	昨年、優秀賞		
優秀賞 14名	那須高原支所	くろいそ支部 前田 宏幸	農務部長賞			
		くろいそ支部 加藤 拓央		昨年、優秀賞		
		塩原支部 小林 陽子				
		高久支部 穴戸 英樹		昨年、優秀賞		
		塩原支部 仙波 信男				
		中部支部 横山 武夫				
		高久支部 伊藤 謙三		昨年、優秀賞		
	宇都宮支所	高林支部 菊地 清一				
		西那須野支部 安田 守				
		那須南支部 平野 恒夫			昨年、優秀賞	
		真岡市支部 石川 市郎				
		茂木町支部 荒井 敦夫				
		市貝町支部 梶村 健介				
		壬生町支部 高山 明男				
優良賞 20名	那須高原支所	那須高原支部 根本 弘毅				
		青木支部 利根川 晟				
		中部支部 西森 正一				
		塩原支部 木村 肇				
		中部支部 白須 孝志				
		穴沢支部 阿久津正美				
		高林支部 池田 一夫				
		青木支部 大田原 浩				
		中部支部 小泉 源次				
		青木支部 稲垣 晶一				
		くろいそ支部 伊藤 昭一				
		大田原支部 藤田 一義				
		高久支部 猪瀬 良一				
		那須南支部 大野 雅美				
		宇都宮支所	塩谷矢板支部 青木 正			
			那須南支部 松井 実			
宇河今市支部 大柿 彰吾						
石橋町支部 橋本 一裕						
栃木県南支所	茂木町支部 川上 一幸					
	二宮町支部 小倉 通保					
計		35名	同点の場合、順不同			





連続賞表彰



最優秀賞表彰



議長団の小森幸雄氏(右)佐藤一男氏(左)



貴重なご意見・ご要望が出されました



優良賞表彰



優秀賞表彰

## 支所別説明会

### 四会場で行われる

六月上旬より、支所毎に地域説明会を四会場で開催致しました。

総会は、総代制になっておりますので、全組合員に十五年度事業実績及び平成十六年度事業計画についてご報告し、皆さんからのご要望、ご意見を頂き、今後の事業展開に資するため、初年度より開催しております。今年度の支所別説明は六月九日、十五日に四会場で行ないました。

#### 主な質疑ご意見等

##### 那須高原支所

組合員の加入・脱退について  
 転貸資金の借入限度について  
 那須高原CS建設について  
 乳質保全規定について

生乳検査について  
 機構改革について

##### 宇都宮支所

増資計画について  
 HACCPへの取組みについて



不良乳ペナルティーについて  
 県南支所  
 人件費の計画設定について  
 組合の中期構想について  
 乳質奨励金等について  
 牛群検定事業の促進について



# 外国人研修生受入れ事業 中国より八名が研修を開始

組合では、外国人研修生受入れ事業について、諸々検討を重ねて参りましたが、このたび、第一次受入れ機関としてこの事業を推進することになりました。

この事業は、酪農開発途上国（主として中国）の担い手が先進技術を習得し、自国の産業振興に生か

すための制度であり、一農家につき二名以内の受入れが可能となっております。

組合では昨年十月に事業説明会を開催し同時に受入れ希望を取りまとめましたところ、六牧場より八名の受入れ希望がありました。

又、昨年十二月に、外国人研修



県農業機械化センターでの研修



消火訓練



集合研修

生受入れ協議会（会長岡田純治氏）を立上げると共に、(財)国際研修協力機構（JITCO）の賛助会に加入し、指導を得ながら中国からの送り出し機関の選定・研修生の手配要請・人選・入管の手続き等済ませ、五月十一日に、中国の遼寧省より八名が来県しました。芳賀町少年自然の家」等において、日本語・社会生活・酪農実務知識など三週間の集合研修終了後、それぞれの農家に配属され、実務研修（非実務含む一年）と、技能実

習（二年）が開始されました。今回の研修生は二〇歳から三二歳の男子で、すでに日本語を習得していますので、受入れ農家にも好評です。

今後の計画は、次回の研修生受入れ希望の調査を十一月頃に実施し、研修生の受入れは、毎年五月を予定しております。

研修生の受入れ農家並びに研修生は写真の通りです。



陳曉萌（送り出し機関の総経理通訳）

郭平（有岡田牧場）

王震東（松山秀夫）

劉東（伊フルーム）

翟曉明（皆川美範）

何偉（小堀哲夫）

杜徳全（伊フルーム）

姜凤春（永嶋繁）

范新軍（永嶋繁）



# 東西南北

## 那須高原支所

### 女性会那須支部視察研修会

六月二十三日、那須支部は新役員体制になっての初事業として、福島県伊達郡川俣町にある「みちのくグリーン牧場」で視察研修を行いました。

牧場は、国道104号線沿いなので立地条件が良く、観光牧場の経営に適していると感じました。

牧場に到着後、社長の高橋勝信さんより経営概要の説明及び講演を一時間程いただきました。その中で「農業（食糧）の大切さ・食の安全・自然環境の大切さを真剣に考え、その中で生れた牛乳に豊かな未来を感じ、量の生産に走ることなく酪農家としての社会的使命を果たしたい」と話されました。昼食を野外の施設で済ませた後、広々とした牧場内を見学しました。ログハウス・放牧場・乳製品工場等があり、乳製品は売店で販売され好評でした。今回の視察研修会も、観光地に位置する牧場の可能性について大変参考になりました。

## 宇都宮支所

### 宇都宮支所活動推進協議会 酪農セミナー

六月二十三日（水）、塩谷地方農業共済組合にて、埼玉県の開業獣医師でプロダクションメデイシンを実施している芦沢博道先生を招き「夏場を乗り切るための基本的飼養管理」と題して暑熱対策のセミナーを開催しました。

始めに当協議会長の小森幸雄氏が、「牛乳の需要期を直前にして、再度暑熱対策を見直し、高品質乳の生産と牛の健康管理に努めて頂きたい。そのためにも本日のセミナーで、自己に見合った技術の一つでも持ち帰り実践して貰いたい。」と挨拶しました。

続いて相馬副組合長より挨拶とともに、組合の実績報告と中期構想等についての話がありました。この後セミナーに入り、

高品質粗飼料、農場毎の適切な栄養設計・管理



十分量の新鮮できれいな水  
餌の変質を防ぐツルツルして清潔な飼槽表面

清潔で滑らず、柔らかい通路  
横臥しやすく、乾燥した牛床  
牛のストレスにならない一般管理  
体感温度を下げる（上げない）暑熱対策

という内容で、なぜこれが必要なかをわかり易く説明してくれました。また、これらを実行して夏場を乗り切つて貰えればとのコメントでした。

### 地域酪農組合・酪農ヘルパー 利用組合宇都宮支部通常総会

各組合において通常総会が開催され、全議案が原案通り可決承認されました。総会終了後「家畜排せつ物」に関する記帳・記録等についての説明も行われました。

宇河今市地域酪農組合 六月十日  
塩谷地域酪農組合 六月十日  
ヘルパー利用組合宇都宮支部 六月十五日

## 栃木県南支所

### 堆肥センター視察

女性会芳賀支部（支部長・国母悦子さん）は六月二十三日、部員五十二名の参加で梅雨晴れの中、視察研修を行いました。

午前は、茂木町堆肥センター「美土里館」を見学し、県内でも指折りの高品質堆肥醗酵攪拌処理プラントを立ち

上げた、矢野センター長のユーモラスな説明に、熱心に見学出来ました。このプラントでは、町内畜産農家から出る家畜の糞尿を町で収集・資源化し、悪臭や地下水の汚染を防いでいます。

また、出来上がった自慢の堆肥は品質が良く、利用した農作物の収穫・品質も良好で、農家を元気づけてくれると話していました。参加者は、これまでに十分に解っていなかった堆肥の醗酵過程を、この視察で理解することができ、自分の牧場でこの知識が役に立つことと思つと話していました。

昼食をホテル・ツインリンク茂木で楽しんだ後、市貝町の永嶋牧場へ向かいました。永嶋牧場は、搾乳牛一八五頭、育成牛三十五頭の大規模経営で、近代化されたシステムを視察しました。その中でも、関心は特に自動哺乳機へと集中し、様々な質問が出されました。大勢の見学に対応してくださった永嶋さんに感謝しつつ、牧場を後にしました。今後の研修会も、より多くの部員が



茂木町堆肥センター「美土里館」

参加され、酪農経営のヒントやアイデアを持ち帰れるものになりたいと思います。



# 部課だより

## 生乳販売部

### 生乳生産回復傾向に！

四月の生乳生産乳量は前年比一〇〇・三%、五月は一〇二・二%と前月までの減少傾向から増加に転じた。

昨年の冷夏による受胎率の向上、牛体の痛みが少なかったことが影響し、回復傾向を見せた要因と思われる。直近（六月下旬は一〇四%増）においては前年を大きく上回る生産を示しており今後、最需要期を迎えて本格的な生産回復が期待されます。

都府県においては四月は一・九%減と相変わらず減少傾向となりましたが、関東においては一〇〇・六%と前年を上回り六・七月についても減少傾向に歯止めがかかると考えます。

一方、用途別販売実績は、関東生乳販連において、飲用牛乳向け

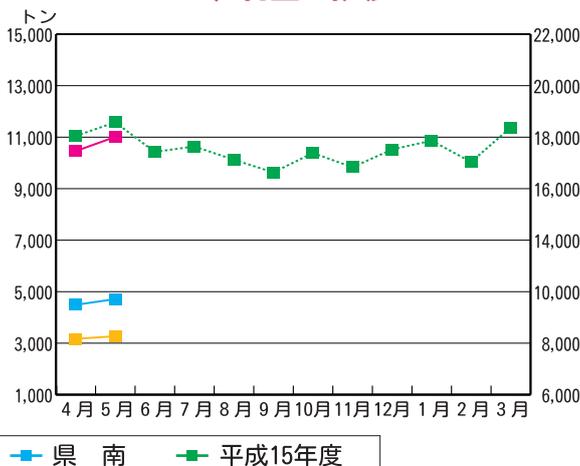
販売量が四月は前年比九六・四%、五月は九七・一%と依然として回復傾向が見られず、特定乳製

品向けについては飲用消費量の減少から四月が前年比一一九・八%、五月は一二四・三%と増加したこ

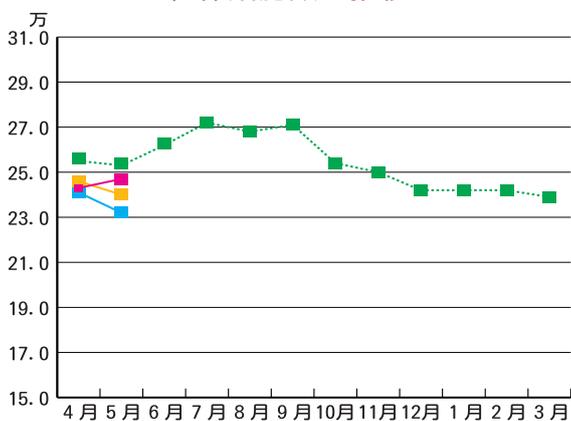
◆ 脂肪率の推移



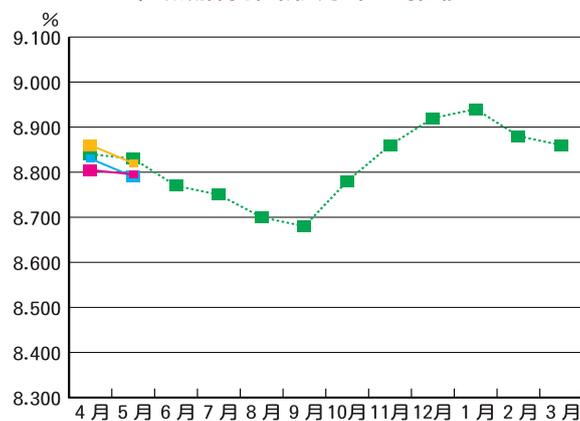
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



## 酪農部

### 青年部本部通常総会

六月七日(月)、ふれあい牧場に於いて、酪農とちぎ青年部第三回通常総会(代議員)が開催され、執行部より提出された全議案は原案通り承認されました。

事業計画として、親善球技大会(ソフトボール・ボウリング)、研修会(講習会)を実施します。

後継者対策として、第二回出合い・ふれ愛の会の実施が計画されて

とより、懸念される脱粉在庫も積み増しされ、生乳の需給は緩和傾向が続いております。今後最需要期を向かえることから需要回復を期待するものです。

乳質においては四月・五月とも無脂固形分率・脂肪率はほぼ前年並の良好な成績となっており、細胞数については前年を上回る好成績となっております。

四・五月の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。



います。

また、栃木県酪農青年女性会議を初めとする関係団体行事(事業)へ参加協力します。

今年度は、全共開催場所(壬生町)にて、栃木県ホルスタイン・ジャージー共進会が開催されます。青年部活動の充実は勿論ですが、全共栃木大会成功へ向けた活動にも協力していきたいと考えております。

### 女性会本部通常総会

六月四日(金)、高根沢町元氣あつむむらに於いて、酪農とちぎ女性会第三回通常総会(代議員)が開催されました。

今会長は、男女共同参画を進めるには、自分を高めることに尽きる。女性に一番大切なことは学ぶ姿勢であり、支部役員などになつて学ぶことも多くあると挨拶を述べました。

議長に塩谷支部の坂部生子氏が選任され、議事が進められました。提出された全議案は、原案通り承



認されました。

総会終了後、懇親会が開かれ、楽しいひと時を過ごし親睦が深められました。

### 本部役員改選

青年部・女性会の通常総会にて役員改選が行なわれ、本部役員交代がありました。各組織の新役員をご報告致します。

前役員には、各々組織作りにご尽力頂き、厚くお礼申し上げます。新役員には、各組織の更なる発展にご協力を宜しくお願い致します。

## 青年部・女性会本部新役員

### 青年部

役職	氏名	支部名
部長	植木 茂	宇河・今市支部
副部長	相馬 義樹	黒磯支部
副部長	大島 秀樹	芳賀支部
会計	坂主 豊	大田原支部
監事	物井 昭夫	塩谷支部
監事	坂本 覚治	河内南部・下都賀支部
委員	塩島 春樹	那須支部
委員	大金 一志	塩原・西那須野支部
委員	小滝 淳	那須南支部
参与	渡辺 透	塩原・西那須野支部

### 女性会

役職	氏名	支部名
会長	斎藤 典子	塩谷支部
副会長	長谷川マキ子	大田原支部
副会長	国母 悦子	芳賀支部
会計	郷間美知子	宇河・今市支部
監事	清水恵美子	那須支部
監事	舘野 道子	河内南部・下都賀支部
委員	阿久津モモ	黒磯支部
委員	松原きのえ	塩原・西那須野支部
委員	荒井 京子	那須南支部
参与	今 克枝	那須支部

## 6月ホクレン初妊牛市場成績

(単位:頭,千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
北見	6月9日	284	491	4	9	54	101	83	33
十勝	6月10日	310	499	6	12	48	89	107	48
釧路	6月16日	157	491	1	8	11	58	77	2
根室	6月17日	279	476	3	14	61	125	60	16
豊富	6月18日	213	484	5	10	31	74	75	18
合計		1,243	488	19	53	205	447	402	117
前月		1,661	515	14	62	170	431	511	473
前年同月		1,181	465	12	59	165	220	120	

## 家畜市場成績

平成16年6月

(単位:円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 十五日	ホルス雄	5	-	32,550	7,350	21,630
	F1雄	74	-	171,150	64,050	124,895
	F1雌	55	-	143,850	45,150	69,720
館林 十七日	ホルス雄	9	72	81,000	39,000	59,222
	F1雄	11	68	186,000	126,000	148,636
	F1雌	17	70	136,000	73,000	104,235



# 理事会だより

## 六月度理事会

### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 六月分生産者支払乳価について
- (三) 支所別地域説明会について
- (四) 建設委員会報告について
- (五) 那須高原CS建設に伴う入札結果について
- (六) 関連会社(栃木明治牛乳株)の業務報告について
- (七) 栃木県酪農業協同組合連合会の理事選出について

### 協議事項

- (一) 資金貸付について

- (一) 五月度実績について
- (二) 那須高原支所設計について
- (三) 夏季手当について

## お知らせ

第十七回栃木県ホルスタイン共進会及び第一回栃木県ジャージー共進会

### 開催期日

平成十六年十一月三日(水)

### 開催場所

壬生町羽生田地内県有地

主催 栃木県酪連

### 出品区分

ホルスタイン種 第一部、第十部百二十頭予定

ジャージー種 第一部、第二部

十五頭予定

出品希望者は、出品申込書の内容をご確認の上、所轄支所・事業所までお申込み下さい。

### 組合員アンケートにご協力を

組合では事業・運営等の改善を図るため、このたびJA栃木中央会の「JA総合診断事業」を受診することとしました。つきましては、無作為に選出した組合員の皆様、アンケート調査をお願いすることになりますので、アンケート用紙が届きました方のご協力をお願い申し上げます。

尚、調査については無記名で実施し、集計等はJA中央会が行いますので、回答者にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

## 重曹キャンペーンのお知らせ

近年、乳牛の高能力、高品質化への技術の改善は著しく高まっています。それに伴い飼養管理も複雑化し、飼料給与も濃厚飼料偏重型となり、牛の生理にそぐわない例も見受けられます。

濃厚飼料の多給は粗飼料とのバランスを崩し、第一胃を酸性化し、微生物群の働きを悪くします。そ

れにより食欲減退、飼料効率の低下、乳量減少、乳脂率低下の原因となり、特に暑熱時のヒートストレスは食欲不振を招きそれを増長させます。

以上のことから、組合としまして第一胃の緩衝剤として別表の重曹剤キャンペーンを八月末まで行っております。この機会に是非ご利用頂き、健康な牛共々夏を乗り切りましょう。お問い合わせは、各支所経済課まで。

品名	重量単位	通常価格	キャンペーン価格
重曹ベレット	20kg	3,750	3,550
重曹トクヤマ	20kg	1,530	1,330
アシドパンチ	20kg	4,700	4,000
アルカリくん	20kg	3,800	3,000

## パソコン一年生フリーズ

フリーズとは、ストップ・モーションのことで、マウスやキーボードを動かしてもモニタの画像に変化がなく、静止画となって表示されている状態をさします。この現象が出た後では対処方法が殆どないのですが、パソコンを再起動すると通常通り使用出来る場合が殆どです。フリーズに至るまでには様々な原因があり、素人(私を含め)が現物を調査しても特定出来ないケースが殆どです。パソコンはフリーズして当然とは言いませんが、毎年パソコンを使用していますと、フリーズが起きなかつたパソコンは少ないと思います。

しかしフリーズが頻発する様であれば問題です。そのまま放置し使用を続けていると、要因によっては大切なデータの破損などに繋がる場合もありますので、早期の対応が必要と思われます。パソコンの部品は交換で解決出来ませんがデータは作り直し出来る物ばかりではありませんので、普段からのデータの複製(バックアップ)は重要です。